



すずかけ

令和6年10月25日

第10号

校長 鎌田 史顯

自分の足で移動し、目で見て、耳で聴いて学んだ

6年生の東京修学旅行



10月16・17日に6年生が東京へ修学旅行に行きました。山形新幹線での往復は「新型車両E8系」で、乗り心地も良く、新しい車両の匂いが残っており、とても快適でした。修学旅行というと、東京都内は貸し切りバスで移動し、ガイドさんが「右手をご覧ください。皇居は…」と詳しい聞きながら案内してもらう学校がほとんどです。しかし、今年の6年生は違います。東京駅の新幹線ホームから東京メトロのホームまで移動し、丸ノ内線に乗り換えて国会議事堂前で降りました。一日の利用者が100万人と言われる巨大な東京駅構内の移動、短時間での地下鉄の乗り降り、電車内で空いた席に順番に座ったり、お年寄りに席を譲ったりすることも経験しました。始めは緊張もあって、席が空いても座らず、吊り革もうまく使えませんでした。徐々に都内の移動にも慣れ、乗り降りする駅を先に確認したり、間を詰めて整然と並んで順番を待ったり、駅ごとに左右に変わる降り口に合わせてスペースを空けたりすることもできました。また、「何でこんな時間でも混んでいるのだろう?」「電車が次々とくる」「小学生も電車で通学している」「切符を買っている人よりも、改札機にスマホをかざす人の方がずっと多い」「電車の中はみんなスマホを見ている」など、目で見て、肌で感じる東京の電車移動は初めて見ることや気づくことが多くありました。

国会議事堂に行くと、全国から来た修学旅行生や団体旅行の方々が大勢いました。衆議院が解散した後でしたので、静かな国会内でしたが、その分、詳しく説明をうかがうことができました。説明を聞くたびに熱心にメモを取り、テレビで見たことのある本会議場を食い入るように見る大郷小の児童の姿はとても立派でした。昼食会場である議員会館食堂に向かう途中、総理大臣官邸前を通ると「開けまーす!」「閉めまーす!」と大きな声をかけて、車の出入りのためにバリアケードを開け閉めする警察官を見ました。多くの警察官が周辺におり、厳重に警備していることがわかりました。3日後、その場所で事故があったことをニュースで知り、本当に驚きました。

スカイツリー、浅草寺、2日目には上野恩賜公園内の動物園や博物館、科学博物館や美術館などを見学・研修しました。今年の修学旅行は、「連れて行ってもらった修学旅行」ではなく、「自分の足で移動し、目で見て、耳で聴いてたくさん学んだ修学旅行」になったことは、本当にすばらしかったと感じています。

あまりにびっくりしたので聞いてください！

「おじいさんとおばあさんに1万円ずつお金をもらってきたからお土産を買わなきゃいけない」「スポ少のみんなとコーチ、習い事の先生にもお土産を買わないといけない」と言っているのを上野動物園のお土産売り場で聞きました。他県から修学旅行に来ていたその児童は、両手いっぱいにお土産を買い、何度も指を折り数え直して買い漏れがないかを確認していました。

東京は今、全国どこからでも数時間で行き来ができますし、日帰り出張も当たり前になりました。宿泊先に親せきが来て会ったとか、何かあると心配だからお金を多めに持たせるとか、修学旅行だからいつもと違う髪型や服装で行くようなことは昔のことです。「約束を守らせず、多額のお金を持たせる」「スポ少や習い事へのお土産を買わせる」のは、大人がさせていることであり、本当に残念なことです。出発前からずっと「〇人分のお土産を買わなければならないノルマ」を負わされて出かけ、行く先々で「何を買うのか」を探し続けるのです。貴重な学習機会である修学旅行に、「本来の目的以外のことを子供にさせることはあってはならない」と考えます。

20年以上前のことですが、こんなことがあったのを思い出しました。中学校の修学旅行前、お小遣いの使い道計画表をつくっていた時に、「スポ少のコーチとメンバーへのお土産費」「部活動の先輩へのお土産費」を計画した生徒がいました。その時の担任は、「あなたのコーチや先輩は修学旅行のお土産をもらって喜ぶような人なのか？」「修学旅行でお土産を買わなければならないスポ少とは、何を目標に練習しているのか？」「家族旅行や遠征、上位大会への出場時ならわかるが、その行動は修学旅行の目的に合っているのか？」と問いかけ、しっかりと考えさせて思い留ませました。保護者にも連絡し、修学旅行前の学年集会でもこの件を説明しました…。

すんべ会「秋の逆川清掃」

4月21日（日）に引き続き、10月20日（日）に逆川清掃がありました。秋晴れの中、胴長を着用されて川に入り、丁寧に清掃作業をしていただきました。久しぶりに「ワクワク豚汁」も復活され、作業後にはおいしく召し上がったそうです。本当にお疲れ様でございます。



長距離走記録会

学年部ごとに長距離走記録会を実施しています。先日まで中間休みに走る「レッツ エンジョイ ランニング」を行っており、体育の授業での取り組みと併せて、成果を確かめるものです。長距離は走るのが

つらく、苦しい競技ではありますが、練習を重ねてタイムを縮め、多くの声援を受けながら、さらに良い走りを見せてくれています。

